

魅力ある農村づくり

への施策

◎農村振興係

農村・農地の環境を守ります

水と緑の田園風景に心のゆとを求め、人が増えつつある一方で、過疎化、高齢化、非農家などの混住化の進行に伴い農村集落の機能が低下し、農地の適切な管理が困難となつてきています。農地を守り、環境向上につなげるための事業を行っていきます。

農地・水・環境保全向上対策事業で、農業者と農家でない住民が一体となり、地域ぐるみで集落の農地・農業用水の適切な管理を行い、併せて環境の保全に取組む共同活動に対して支援を行います。

中山間地域直接支払制度

耕作放棄地の増加により、集落の機能低下が特に懸念される中山間地域等において、担い手の育成等による農業生産を通じ耕作放棄地の防止や多面的機能を確保します。

耕作放棄地対策

地域の共同活動が困難になつたことで手入れが行き届かなくなつた耕作放棄地は、病害虫・鳥獣被害や、不法投棄を誘発する恐れがあります。休耕田等の現状を再確認し、今後の対策・利用について検討します。

菜の花プロジェクト

転作田等に菜の花を栽培、収穫し、油を精製します。無添加の油は食用として利用した後、廃油をバイオディーゼル燃料として活用します。耕作放棄地の予防と、循環型社会の実現を目指し現在実験中です。

にかほ市の農業を担うみなさんを支援します

認定農業者制度

◎集落営農推進係

水田のフル活用

地域の大切な資源である「水田」の農業生産力を最大限引き出し、消費者に安全な農産物を送り続けることができるよう、従来の支援に加え新たに、米粉用米や飼料用米等の新規需要米の生産拡大のため「水田等有効活用促進対策事業」や「産地確立事業新規需要米推進助成」を行います。

集落営農組織の発展を

「集落営農組織」を重要な担い手として位置付けていきます。市の牽引役を育成する、「発展モデル組織育成事業」を始め大豆・野菜等への複合化や、農業生産法人への発展を図るため、「転作物産地形成推進事業」や、「産地確立事業集落営農組織育成助成」等の施策を行います。

将来にわたって農業で生計を立てる計画がある方が、自らの経営5年後を想定して策定した計画書を市が認定し、その意欲ある計画の実現に向けて関係機関が一丸となって支援していきます。

就農支援

《フロンティア農業者研修》新規に就農を希望する方、既に就農して新しい技術や身につけたい方が県農業試験場等において農業の基礎知識や、新たな生産技術を習得するのに研修奨励金を補助します。

女性農業者活動支援

地域特産品開発、直売施設の利用促進等、地域農業のさらなる躍進に取り組み女性農業者の皆さんと農産物栽培技術、加工技術の学習会を実施し活動の促進を図ります。

安心でおいしい食材の確保

「秋田由利牛」ブランド化に向けた市場・消費者へのマーケティング活動を実施し、低コスト・高効率な営農体系の確立を

から始まる地域と人づくり畜産振興

ら10%の負担をいただいで処分する制度があります。ご相談ください。

漁港整備

金浦漁港周辺の高波対策として、沖防波堤20メートルを延長するとともに飛渡岸12.5メートルの嵩上げをする予定です。平沢漁港では東防波堤の強化のため消波ブロックの設置など、象潟漁港では航路の浚渫を行います。



「サケの稚魚放流」
つくり育てる漁業
ふるさと学習の一環

つくり育てる漁業へ

アワビなどの増殖場を造成します。アワビ・サケ等の種苗・稚魚放流により資源の拡大を図ります。

◆問合せ 農林水産課

☎38・4303

新型インフルエンザ 〜疑わしい症状がたらしく 受診前に電話を！

新型インフルエンザへの感染が疑われる場合、市・県・保健所の発熱相談センターなどにお電話ください。

【インフルエンザの症状は】

- 咳や鼻水が出る
- 突然の高熱、全身のだるさ、頭痛、筋肉痛等がある
- ※症状は人によって変わる可能性があります。
- 【インフルエンザにかからない・他人にうつさない心得】
- 人ごみを避ける
- 帰宅後はうがいと手洗いを
- 咳エチケット▽マスクの着用
- ▽周囲の人から1m以上離れる▽鼻汁・痰を含んだティッシュ類はすぐにゴミ箱へ

相談・問合せ先

にかほ市新型インフルエンザ発熱相談センター ☎32・3000（毎日午前8時30分〜午後8時）、秋田県健康推進課 ☎018・860・1425（毎日24時間対応）、由利本荘保健所 ☎22・4122



●広域由利家畜市場
由利牛のセリの様子

回り、消費者が求める高品質で安全・安心な牛肉需用に応える産地づくりを進めています。

食育推進計画

人間が生きていくうえで基本となる「食」の乱れが指摘されています。健全な心身をつくり、豊かな人間性をはぐくむため、偏りのない食生活を推進する食育活動に取り組みます。学校給食における地産地消、直売・加工グループによる地元産農産物を使用した新たな特産物加工開発への支援、生産者の顔が見える安心して購入できる直売施設の充実などを図り食育の展開に結びつけます。

●「菜の花プロジェクト」
耕作放棄地対策に
B.D.F.燃料の原料に
美しい景観の菜の花畑。

●「大豆ほ場」
雄大な烏海山を背景に
複合化を推進